

さかそう通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人（人財）を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

阪南市に

大切な

たった1つのこと

そして7つの改革



こんにちは。市議会議員の上甲です。市政報告書「さかそう通信」第38号をお届けいたします。今回は「阪南市にこれから大切なたった1つのこと、そして7つの

改革」という特集でお伝えします。後半では阪南市の「防災対策」をまとめていきますので、最後までお付き合いよろしくお願ひします。

私が現在の阪南市を見渡して、様々な市政に、そして市民である皆さんの活動に携わらせていた、

だいて、強く思うこと。それはたった一つ、これだけです。



行財政構造改革

7つの改革 その1



まずは、なんといっても行財政構造改革です。現在の**行財政構造改革プラン**、これまで2年弱の間取り組まれてきましたが、一向に成果が生まれません。というか後退しているものもあります。たとえば、老人福祉センター。

行財政構造改革プランでは「老人福祉センターは廃止」令和2年度から毎年2千万円の効果額

令和2年度から老人福祉センターは廃止するけどほぼ同額の予算を使って、同じ場所で「介護予防拠点」をスタート

現在の阪南市を今一度見つめなおします。人口は3年前から想定以上に減少し、子育て拠点整備については遅々として進まず、平成30年11月に大きく打ち出されました財政再建のための**行財政構造改革プラン**はほとんど進んでいません、さらには後退してしまっている事業も散見され

ます。今一度、市民みんなで阪南市の現状を知り、「ワガゴト」として「今しなければならぬこと」を真剣に考えましょう。今回は私が考える「阪南市に必要な7つの改革」としてまとめお伝えします。この市政報告書が皆さんのワガゴトを考えるきっかけとなれば幸いです。

事業を廃止と銘打つてはいます

が、その実、名称だけの變化で中身が変わっておらず意味のある変革とは思えません。これ以外にも、

- ・未利用公有地の利活用、処分
- ・コミュニティバスのルート見直し
- ・わんぱく王国の借地解消 他

停滞しているものが多く見受けられます。

こんな状態ではとても行財政構造改革とは言えないのではないのでしょうか。もっと強いビジョンと計画性、改革を進めるリーダーシップ、スピード感がが必要です。

もう一度この改革を見直し、一つ一つに対してロードマップ（工程表）と目標を定め、着実に進めていく真の「改革」が必要です。

7つの改革 その2



公務員改革

財政的に大変な時だからこそ、「**ビジョンある身を切る改革**」が必要です。前向きな創意と工夫をもってワガゴトで市の問題を解決する職員が求められます。

同時に市民におもてなしをもつて寄り添い、市民目線で情報の受発信に努める姿勢が必要です。

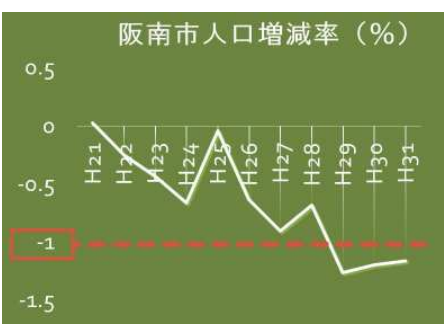
7つの改革 その3



子育て改革

子育て環境の前提として「人口減少・少子高齢化問題」について触れておきたいと思えます。阪南市の人口増減率のグラフをご

覧ください。



ここ3年の人口増減率が明らかに低く、マイナス1.0を下回り、毎年6百人以上の減少を記録しています。この減少をいかに食い止めるかが行政の大きな課題です。

さて、阪南市の子育て環境に話を戻すと、総合子ども館計画が方向転換し、新たな「子育て

拠点整備計画」が必要になってから3年半。昨年12月にようやく出来た計画ですが、先延ばしが多く子どもの安全確保を最優先したものは言い難いのが現状です。



以前のさかそう通信でもお伝えしましたが、尾崎幼稚園・尾崎保育所の統合は令和4年度以降、下荘保育所・石田保育所にあつては令和5年以降に検討を始める、というかなり緩やかなプランです。その間も、毎日毎日古く一部危険なままの建物に通い、育つ子ども達がいま。今こそ、現在の計画をもう一度見直し、子ども達が安心して

育つ環境を一日でも早くみんなで作り上げる改革が必要です。この自然豊かな阪南市のメリットを十分に活かして。

7つの改革その4

市民協働改革



私はこの「市民協働」こそが市政の中で、最も難しいと思っています。市民皆が阪南市のまちづくりを誇りを持ち、ワガゴトとして、活躍できるステージを、前向きに力を合わせて作っていく。そういう改革が必要です。

7つの改革その5

魅力みがき改革



阪南市には魅力がたくさんあります。もちろん海があつて山があつて、まちがコンパクトで駅が5つもあり住みやすいというのも魅力です。しかし私は阪南市が昔から力を入れてきた「文化・教育のまち 阪南」というのも大きい魅力の一つだと思います。

文化・アート
社会教育・生涯学習
学校教育・地域教育

これら全てが連携協力し、その大きな軸を中心に人と人が繋がっていく。それぞれの魅力を磨きあう。図書館や公民館、学校や市民活動センターなど、関わる皆が共通の魅力として誇りある阪南市を作り上げる改革を進めましょう。

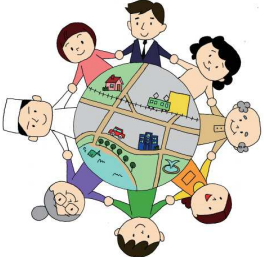
民間連携改革

7つの改革その6



改革を進めていく中、財政的に脆弱な阪南市がこれからの人口減少・少子高齢化の影響を大きく受けることは目に見えています。

よって、今のうちに計画的に、民間に任せられるものはほとんど民間に任せ、シエイプアップする必要があります。ただし闇雲に進めるのではなく、今までの経緯や利用者の意向なども踏まえ、着実に進めていく必要があります。



広域連携改革

7つの改革その7



前述しましたが、豊かな環境はあるものの、大きな企業も少なく、税収の少ない阪南市は今後、新たな生きる道を模索しなければなりません。

私は近隣他市町との広域連携をより積極的に進めることを提案します。現在も泉南清掃、泉州南消防、広域福祉など連携が大きな意味を持っている部分もあります。しかしもっとです。そして、最終的には「市町村合併」という形が市民の皆様のご理解を得て、確実に実現するように今から各市町と調整を進めていかなければなりません。

市政相談・お問い合わせ

お気軽に

上甲誠市政相談所



お待ちしております!

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

上甲誠ブログ

人こそ街な



ほぼ毎日更新中!

<http://mac-joe.net/>



阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!

どんな想定？

30年以内に70~80%
マグニチュード 9.1 (東日本9.0)
震度6強 (阪神大震災→阪南市4)
阪南市の建物全半壊件数5,816件
(4件に1件)
阪南市の避難所生活者数6,667人
(8人に1人)

もしも 阪南市の防災対策 南海トラフ巨大地震 がおこったら

一時避難
とにかく逃げる
二次避難
安全確保できてから避難する

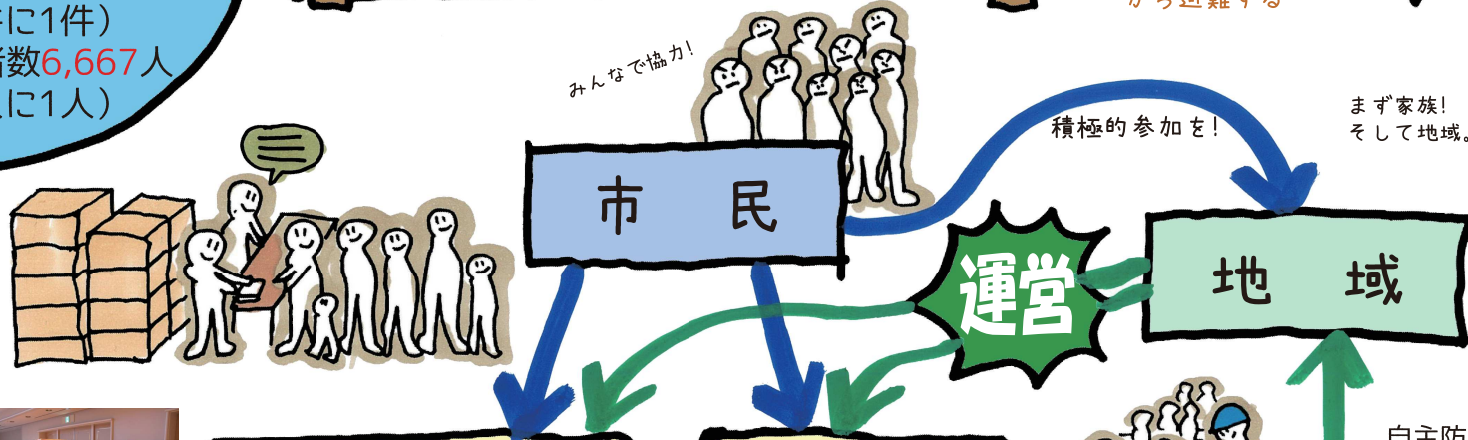
海の近くの人は
大きい揺れ感じたら
南海線より
山側に逃げる!



まず家族!
そして地域。

みんなで協力!

積極的参加を!



自治会
加入率60%
もっとみんな
入ってほしい!

自主防災会 (自治会単位で結成)
全60自治会中
→42自治会で結成
その他は自治会で災害対応

仮設住宅

中央運動広場 (総合体育館)
で仮設住宅30戸を想定

仮設トイレ

下水利用可能→仮設トイレ
避難所などにも仮設トイレ
(事業者と協定済み)
し尿処理・防疫対策に
ついては協定済み

他団体との連携

警察
消防
自衛隊
社協

消防団
民生児童委員
ボランティア
農協、漁協
交通インフラ
清掃組合、水道企業団
関西電力、一般企業
市民病院
医師会
地域の診療所
各福祉施設



救援物資の輸送拠点 = 総合体育館
備蓄品 = 市役所はじめ6カ所に分散
プッシュ型支援 (1週間) → プル型支援

鳥取中学校 = 自衛隊・救援団体の拠点
市民病院 = 災害医療センター
地域交流館 = ボランティア拠点
箱作公園 = 自衛隊等ベースキャンプ



備蓄品・救援物資

避難所

受入・配分

開設

災害対策本部

本部 = 阪南まもる館
(自家発電、貯水槽完備: 72時間停電断水でもOK)

避難所 = 市内51カ所
うち住民センター36
(うち20未耐震)
全部開設で約1万人が収容可能

連携

市役所

職員 = 震度5弱で自動参集
(職員市内在住率約50%)

自助 & 共助 = 9割
公助 = 1割

災害マップ



阪南市HP



市役所の手は隅々まで届きません。自分たちで助け合いましょう。



【上甲誠プロフィール】

- 1973.01 阪南市生まれ
- 1979.03 阪南市立あたご幼稚園 卒園
- 1985.03 阪南市立舞小学校 卒業
- 1988.03 阪南市立貝掛中学校 卒業
- 1991.03 大阪府立和泉高等学校 卒業
- 1995.03 近畿大学 理工学部建築学科（現 建築学部） 卒業
- 2005.04 一級建築士事務所 上甲建築設計事務所 設立
- 2012.10 阪南市議会議員 初当選
- 2013.09 阪南市議会議員 2期目当選
- 2013.10 阪南市議会 第25代副議長
- 2017.09 阪南市議会議員 3期目当選
- 2017.10 阪南市議会 第28代議長
- 2019.10 阪南市議会 監査委員



7年の議員活動



これまでできたこと

議会改革

- ・議員定数2人削減
- ・議員報酬5%削減
- ・議会のユーチューブ録画公開
- ・議会への傍聴者アンケート実施
- ・広報、議決の賛否を公開
- ・広報、伝えやすさ改善
- ・政務活動費の活用厳格化
- ・政務活動費の後払い制導入
- ・初の議員立法制定
- ・「いのちの水をまもる条例」
- ・委員会視察の実施
- ・政務活動
- ・市政報告書の発行38号
- ・市政報告会の定例化50回
- ・会派勉強会の実施

和歌山産廃計画に関する視察

及び勉強会の実施

- ・舞校区を考える議員の会運営
- ・超党派、南大阪広域連携

プロジェクトチームの運営

まだできてないこと

- ・議会基本条例の制定
- ・議会役員任期1年→2年
- ・議会へのPC、タブレットの持込
- ・議会のペーパーレス化
- ・議会のもとと活性化

これからも議会皆で協力して進めたいと思います。

執筆・印刷

上甲 誠（じょうこうまこと）
無所属（1973年阪南市生まれ）

市政相談所：〒599-0224 阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211 メール mac@j.zaq.jp

ブログ <http://mac-joe.net/>

上甲 誠

阪南市議会議員